

2021 年 3 月 25 日

第 45 回エフエムななみ番組審議会 議事録

1. 開催日時 2021 年 3 月 23 日 15 時 00 分～16 時 15 分

2. 開催場所 西尾張シーエーティーヴィ株式会社 2 階スタジオ

3. 出席者（敬称略）

番組審議委員：加藤憲治、東嶋とも子、川原史子、安藤公一、北條寿文

放送事業者：青木啓、小山典孝、服部全志、大橋司

4. 議 事

(1) 西尾張シーエーティーヴィ(株)より挨拶

(2) 鈴木尚英番組審議委員長欠席のため委員長挨拶は割愛

(3) ●近況報告（別紙②-1 参照）

- ・審議会開催や諸連絡について期間に余裕を持つなど配慮してほしい、とのご意見をいただきましたが、今回は直前の連絡となり申し訳ございませんでした。今後は年間予定を提示のうえ開催3週間前までに欠出確認の連絡を実施していきます。

- ・1月募集締切でパーソナリティオーディションを行った。現時点で残っている8名にて、4月放送開始の生放送番組「ななみサタデーライブ」に週替わりで出演いただく。出演時の反響を考慮し更に人数を絞り、7月以降の正式な出演者を決定する。

- サタデーライブのイベント情報とは何か（北條）

- その週と翌週の土日のイベント情報が中心である。

- 行政側で情報提供できるものは行う（北條）

- ・新しく放送開始する「ななみサタデーライブ」はボランティアパーソナリティを起用するとあるが、これは「オーディションで起用した方」か「自治体広報の募集記事きっかけで起用した方」かどちらなのか（安藤）

- 出演時の反響等を考慮しそれぞれから起用者を決定したい。

- 起用者へのギャラはどうなるのか（安藤）

- プロとして起用した方には交通費程度の支払いを検討している。ネームバリューがあり発信力が期待できる方をプロとして位置づける。

- 交通費の支払いは統一した方がよい（加藤）

- プロを目指し起用された方が、現在ギャラ無しで起用されているボランティアの現状を

知った時に説明できる様にしなければいけない。どこでどう区別するのか（東嶋）

- ・災害放送、災害対応は、前回番組審議会以降主だった災害がないため実施していない。

●上期番組内容報告（別紙②-2 参照）

- ・次年度編成について、新番組として「ななみサタデーライブ」を放送開始する。これは、現在、月曜から金曜まで実施している生放送を土曜・日曜にも広げたいとの思惑で始めるものである。まずは土曜日で実施する。番組開始は 4/3 から。

(4) 2021 年度 審議委員について（別紙③参照）

- ・浅井氏、加藤氏は続投。鈴木氏、川原氏、東嶋氏には任期満了につきご退任いただく。

中日新聞からは、津島通信局の深瀬古氏か蟹江通信局の伊勢村氏のどちらか 1 名がご出席いただく。

→中日新聞は、数年前は審議会メンバーだったが去年はメンバーでは無かった。

どういう考え方なのか（安藤）

→毎回の出席が難しい状況だったため、一度ご退任いただいた。その後、相談により各回 2 名のうちのどちらかであれば出席できるとのご回答だったため、再任用させていただいた。

- ・（退任のご挨拶として）防災情報が発信できる媒体のため参加させていただいた。

ありがとうございます（東嶋）

- ・（退任のご挨拶として）番組運営に関わることができて良かった。ありがとうございます（川原）

5. 来期開催日程

年 6 回（5/25、7/27、9/28、11/16、1/25、3/22）を予定

以上